

2020年

景気動向調査総括

調査概要

調査対象期間

2020年1月～12月の各4半期における景況感と、今後における景況見通し

調査対象

新南陽地域の企業421社

調査方法

商工会議所経営指導員等職員の巡回相談時に調査票回収

調査項目

「業況」、「売上高」、「採算」、「仕入単価」、「従業員」、「設備」、「資金繰り」

産業全体

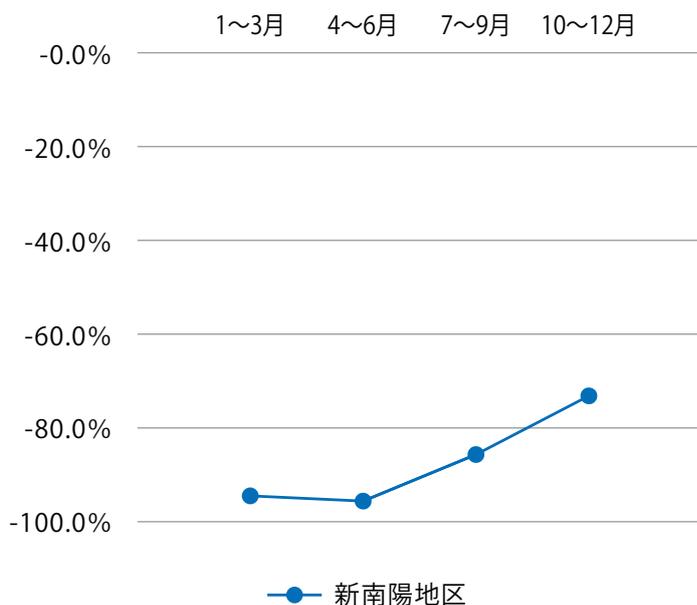
引き続き厳しい状況ではあるが、4～6月以降プラスに転じている。2021年はワクチンの普及に期待感。

新型コロナウイルス感染というパンデミックが世界を襲い、全業種・全規模の景況感が大幅に悪化した。地方の当地域にも多大な影響を及ぼした2020年だった。感染拡大の防止対策として外出自粛やイベントの中止・延期などによりヒト・モノ・カネの流れが停

滞したことで、経済活動は大きく制約された。特に飲食店などは大きな影響を受けた。

3月に山口県に初の新型コロナウイルス感染者が発生した。山口県の緊急事態宣言は、4月16日～5月25日の期間であり、その期間中に多くの感染者の発生、自粛の実施を行っ

2020年業況DI推移



ため、2020年業況DIの推移では新南陽地区で▲94.1%と過去最低の水準に落ち込んだ。2021年政府は、雇用調整助成金やGo Toキャンペーンの期間延長。中小・小規模事業者の業態転換、事業・業種転換を支援する補助金制度等の経済政策を打ち出し経済回復を図る。また、5Gの普及、2020年ではあわ

だしく整えられたリモートワーク環境は、暫くは課題を解決しながら「ニューノーマル」として普及をしていくことが望まれる。2021年は5月には一般の人にも接種が始まり、集団免疫の状態を獲得し、以前のような経済活動に戻る日が来ることを期待する。

監修・分析/マサエンジニアリング代表
中小企業診断士 佐伯 昌之 氏